

事例検討研究会

八王子主任介護支援専門員連絡会

○是枝久和
赤井田朋子
森川直子
島内 正
白石義昌

研究会の目的

- 事例検討会をもっと身近な物に・・・
- 八王子で事例検討会が盛んに行われるように・・・



ケアマネジメントの質の向上

身近で行われている事例検討会

	A	B	C	D	E	F
誰が主催してるの？	居宅	包括	包括	居宅	居宅	包括
参加者の構成は？	2ヶ所の居宅（同一法人）	圏域	圏域	事業所内 （他事業所参加あり）	事業所内	圏域
何人ぐらいでやってるの？	8人			13～20人		
時間は？	1.5～2時間			1.5～2時間	1.5～2時間	
目的は？	・適切な援助方法を学ぶ。 ・ 気づきを学ぶ。 ・メンバー間の共通理解と連携を図る。	・地域のケアマネと主任ケアマネの 連携を深める。 ・ 一人ケアマネの事例検討の場 を持つ。	・短い象徴的な出来事を基に、参加者の質問で概要を明らかにし、原因と対策を考える。（インシデント・プロセス法に基づく）	・スキルアップ（悩み・不安の共有、気づき） ・役割を担う事で実践力を高める。	・ 対応方法を全員で考える。 ・提出者が気づきや支援方法を学べる。 ・ 参加者が役割を通して技術の向上を図る。	・参加者が知恵を絞って質問する事で事例提供者が気づきを得て対応力を向上させる。 ・ 事例提供者を元気にする事。 （ピカジップ法に基づく）
進行方法は？	① ホワイトボード 2枚用意、ホワイトボードを囲む円陣になる。	①司会者により趣旨説明、役割確認	①事例の提示。	① 事前に 提出者とファシリで 打ち合わせ。	①提出者による説明	①事例提供者が状況を説明。
	②事例提供者による説明。	②事例の提示、各自読み込み	②参加者の質問による情報収集（ 対応策は言わない ）。	②提出者が説明。	②参加者による質疑応答	②参加者が状況について質問。1人1質問で全員。
	③参加者による質疑、提供者による応答を分けて記録。	③質問による情報収集	③個人ワークで対応策を考える。	③参加者が質問。	③個人ワークで論点整理	③書記はホワイトボードに状況図を書く。
	④ 板書による情報の可視化 、共有化。	④対応の検討 個人ワーク	④グループワークで対応策を考える（ KJ法 ）。	④グループに分かれ、今後の支援について検討。	④グループワークで対策を検討、その理由を共有	④参加者が意見を述べる。
	⑤ファシリが板書の内容を整理、まとめる。	⑤対応の検討 グループワーク	⑤提出者が感想を述べる。	⑤司会がまとめ。	⑤提出者が感想を述べる	⑤事例提供者が感想を述べる。
	⑥参加者各自の意見表明	⑥事例提供者によるコメント		⑥提出者が感想。	⑥ ファシリによる総評	
	⑦提供者が事例の全体像、方向性など再確認			⑦ファシリが総評。		
事例提出者の準備するものは？	A4で1枚。 提出理由、支援経過、家族状況を簡潔に。	事例提供者が普段使用している 基本情報、アセスメントシート、ケアプラン。	A4で1枚。 簡単に、本人の状態、サービス状況など。	社内事例シート（ A4で1枚 ）とケアプラン。	A4で1枚。 相談したいポイントと現在の状態。	A4で1枚 程度。提出理由を簡単に。
司会、ファシリテーターは、どうしてる？	司会1人。書記1人。ファシリ1人。ファシリは場の安心感を高め、相互作用を促進。	司会1人。書記1人。		司会1人。書記1人。ファシリ1人。	ファシリ1人（司会を兼任）。書記1人。	ファシリ1人。書記2人。
主任ケアマネの役割は？	イニシアチブが取れるように手法を学ぶ。			適所で各役割のサポート 事例検討後の内容確認、検討	ファシリテーターを担う	
参加者の心得は？	ケアプランの非難、評価をしない。利用者の欠点を非難し、ケアを正当化しない。 守秘義務を守る。	傷つくような否定的な意見は慎む。 事例提出者の立場になり検討する。	質問は、事例の事実について行う。（批判的になりにくいので）	人の意見を聞いて 発言する。	サポーターティブに。 ねざらう姿勢で。実行可能な支援方法を考える。否定や批判をしない。提供者、参加者をねざらう心で。	参加者は、 参加意識を高める為、メモや記録を取らない （記録は、ホワイトボードのみ）。事例提供者のやり方を絶対批判しない。

事例検討会の目的

＊みんなで対応策を考える。

⇒検討テーマを絞り、多くの意見を出した上で集約する。

＊提出者が気づきを得る。

⇒解決策を言わずに、出席者が知恵を絞って質問。グループスーパービジョン。

＊提出者の悩み、不安を共有する。

⇒とにかく提出者の気持ち、考えを聞く事に時間を割く。

＊地域での連携を図る。

⇒包括、居宅、多職種で。集まる事に意味がある。

＊司会、ファシリテーションなどの技術を学ぶ。

⇒固定したメンバーで繰り返し行う。

共通しているルール

- * 提供者にサポータータイプに。
- * 利用者を非難しない。
- * ケアプランを非難しない。
- * 提供者、参加者が傷つくような意見は慎む。

主任ケアマネの役割は？

- ファシリテーター的な役割なのでは？
(答えを出すわけではない)



- 事例検討の場を作る。
- 目的に合った雰囲気を作る。
- 多様な意見を引き出す。
- 全体の流れに配慮する。

今後（下半期）の研究会の目標

- 気軽にできる事例検討会のモデル作り



- 冊子『始めてみよう事例検討会』の作成

千一△ S ・ K ・ N

左入 ・ 川口 ・ 中野

参加事業所

- ・あんしん相談センター左入
- ・あんしん相談センター川口
- ・あんしん相談センター中野
- ・指定居宅介護支援事業所さじゅう
- ・偕楽園ホーム居宅介護支援事業所
- ・指定居宅介護支援事業所川口
- ・居宅介護支援事業所ウェストケアセンター
- ・サポートスタッフほほえみ
- ・ニチイケアセンター西八王子
- ・八王子ケアフーズセンター絆

エリア会議

- ・第1回 ランチミーティング 4月20日 居宅さによう会議室
- ・第2回 ランチミーティング 5月24日 新浅川園会議室
- ・第3回 ミーティング 6月26日 新浅川園会議室
- ・第4回 ランチミーティング 7月20日 新浅川園会議室
- ・第5回 ランチミーティング 8月15日 新浅川園会議義
- ・第6回 ランチミーティング 9月12日 新浅川園会議室

会議の内容

- ・今後の活動についての意見交換
- ・活動内容の検討

八王子主任介護支援専門員連絡会
チームS・K・N 主催

「利用者・家族への対応方法について」～事例から共に考える

日 時	平成30年9月18日（火） 14:00～15:30
場 所	新浅川園 会議室 (八王子市川口町1543 特別養護老人ホーム青陽園隣)
対 象	包括左入・包括川口・包括中野の圏域に事業所のあるケアマネジャー
参加費	無 料
申込み	下記に必要事項をご記入の上、8月10日（金）までに FAXでお申込みください。
申込先	居宅介護支援事業所さにゅう FAX 042-692-3467 問い合わせ先：042-696-6651（担当者 加藤）

「ALL 八王子・みんなで！！」 ～SUN STREET3ヶ年計画～

八王子主任介護支援専門員連絡会
めじろ・寺田・片倉・高尾圏域エリア会

SUN STREETコンセプト

①すべての取組の目的はエリア全体のケアマネジメントの質の向上・底上げ。またケアマネジャーの社会的地位の向上・人材の確保・人材の定着を目指す。

②現在、それぞれの機関の役割・機能、課せられている責務・取組を線で結び、協働して行い、効率化と充実を図る。



③保険者・居宅・包括の垣根を越えて「顔の見える関係」から「腹の見える関係」を目指す。それぞれの機関による日常的な相談体制の構築

④一つの取組で八王子主任介護支援専門員連絡会のビジョン、包括的・継続的ケアマネジメント支援、主任介護支援専門員の推薦要件、特定事業所の要件等参加した誰もが実績として複数の要素を含んだものとする。

背景

- ◎ 現在、各機関、個人の取組としてマネジメントの質の向上を目的としたものが点在している。
- ◎ しかし類似した目的にも関わらず、点在することによって、日常業務プラスアルファの仕事という意識となり業務を圧迫するという弊害となっている
- ◎ 日常業務への負担を考慮し新しいものを新たに作るのではなく、極力既存のツールを活用する。不足しているものに関しては新たな取り組みとして行う。

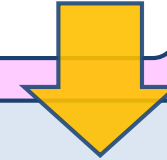
事業所状況

	めじろ	寺田	片倉	高尾
居宅事業所数	6	11	6	5
ケアマネ	42	22	17	13
主マネ (包括含む)	9	4	4	4
サンストリート メンバー	5	3	3	4
小規模多機能	1	2	1	1

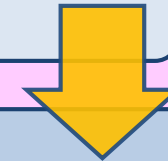
取組実施手順

1年目 基盤構築

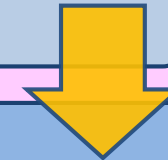
各機関の役割・機能の相互理解、取組の意義を確認する。エリア内におけるサンストリートの活動の周知。



圏域ごとに各居宅及び各ケアマネから意見聴取
(制度改正への対応、質の向上のための取組や意向等)



意見聴取した内容に基づき、各圏域で「居宅・包括
合同研修会」を開催



エリア会にて圏域ごとの取組報告。エリア全体での
取り組みや2年目以降の取組についての合意形成。

エリア会活動報告

夕やけボランチーT

包括エリア

もとはち南
長房
恩方
元八王子

今年度の活動内容

- * 介護支援専門員の困りごと
- * 事業所内外から相談を受けた事柄等の共有
- * 地域の主任介護支援専門員と横のつながり
- * 地域課題や介護支援専門員、主任介護支援専門員の課題を見つける
- * 地域での役割を確立できる仕組み作り

第1回エリア会 平成30年4月16日(月)

1. 独居、身寄りなし高齢者の対応
2. 医師、医療機関との連携
3. ペットがいる方のサービス利用

第2回エリア会 平成30年5月16日(水)

1. 医療・介護の連携について具体的対応方法
2. 法改正の八王子市の見解
3. 恩方エリアの課題への取り組み、地域のケアマネへの支援
4. 家族の精神疾患または疑いがある方への対応方法等

第3回エリア会 平成30年6月13日(水)

1. 医療・介護の連携について、地域内外の主な医療機関の情報、対応方法のまとめ
2. 契約終了後2年以上経過したケースの情報開示請求と家族間でのトラブル等に巻き込まれない為の契約書の書き方等
3. 元八エリアの課題、地域特性である団地の状況と自の連携

第4回エリア会 平成30年7月12日(木)

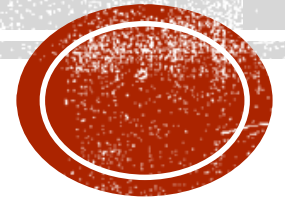
1. エリア会通信について
2. 介護医療院と地域包括ケア(研修報告)
3. 高齢者の車の運転と買い物、通院等の外出について

今後の課題

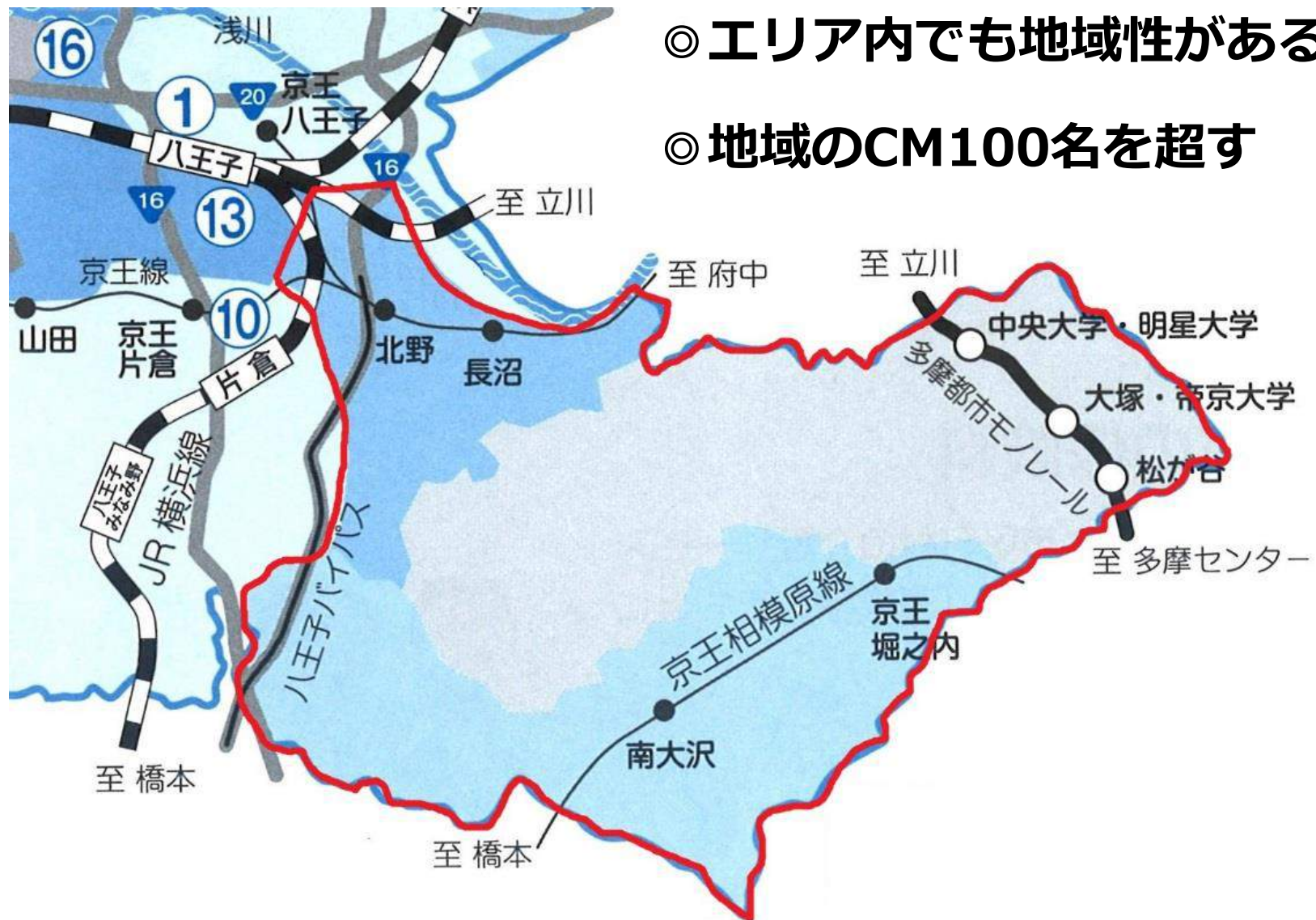
- * 共有した事柄の整理、検討等
- * 共通の課題(医療・介護の連携等)についての仕組み作り
- * 地域の介護支援専門員との情報の共有化

東南主マネ会

活動報告



東南エリアについて



東南エリアについて



東南エリアで話し合ったこと

各ブロックのケアマネジャー名簿の作成

氏名や連絡先以外にも趣味や資格などの項目も

主任CMによるエリア会議(年2回程度)

各ブロックでおこなっている活動を共有

包括支援センターと協同

地域のCM支援や質の向上の目的は同じ

各ブロックの活動内容

長沼ブロック

活動内容①

『長沼ブロック主任ケアマネ会』
H29年から居宅、包括でCMグループを立ち上げ研修会を開催。

- ・ 長沼エリアのCM対象の研修会の企画・運営
- ・ 長沼エリアの主任CMの連携
- ・ 長沼エリアのCMの連携体制の構築

毎月1回 長沼主マネ会議を開催

各ブロックの活動内容

長沼ブロック

活動内容②

研修会の開催

第1回「包括長沼エリアに属しているケアマネの連携について」

第2回「今後の研修計画について」「名簿の活用方法について」

第3回「居宅管理指導(栄養管理士)訪問の実際」

第4回・5回「今さら聞けないあんなこと、こんなこと」

今後の活動予定

第6回 H30年9月「事例研究」(ライブ形式)※包括主催

第7回 H30年12月「事例研究」(ライブ形式)※主マネ主催

第8回 H31年3月「内容未定」

各ブロックの活動内容

長沼ブロック

取り組みから見えてきたこと

各ブロックの活動内容

堀之内ブロック

活動内容①

『地域ケアマネ勉強会』

H24年頃から地域のCMを対象に勉強会を開催。
東南主マネ会発足後も継続活動中。

- ・ 事業所の枠を超えたCM主体の勉強会の開催
- ・ CMの質の向上、地域の底上げが目的

主マネ及び協力員で勉強会を運営

各ブロック 堀之内ブロック

活動内容②



研修会の開催 毎月開催

5月「今後の地域ケアマネ勉強会のあり方について」

6月「勉強会の進行方法や方向性について」

7月以降は事例検討を軸とした活動とすることとなった。

事例検討会にあたっての工夫

- ・ 事例提出者の負担にならないよう事例提出フォーマットを簡素化
- ・ 各参加者が発言できるように小グループで検討する

各ブロックの活動内容

堀之内ブロック

取り組みから見えてきたこと

各ブロックの活動内容

南大沢ブロック

活動内容①

地域に向けた主マネ主体の活動はなかった。

どこにどんな居宅、どんなCMがいる??

「南大沢地域ケアマネ会」を発足⇒ゼロからのスタート

- ・ 地域のCM同士が相談し合える顔の見える関係性作り
⇒地域のCM名簿完成！
- ・ 主マネ及び協力員で勉強会の企画・運営
⇒南大沢ブロックの取りまとめ役は1年任期



研修会の開催

頻度：2か月に1回開催

場所：地域の救護施設 光華 ふれあいホールを借り開催

内容：主催者(主マネと協力員)を当番制にし、主催者が決める。

- | | | |
|-----|------|------------------------|
| 第1回 | 7/12 | 事業所紹介及びCM自己紹介。交流を目的とした |
| 第2回 | 9/11 | 事例検討会、実地指導を受けた事業所からの報告 |
| 第3回 | 11月 | 地域拠点病院のMSWと医療連携手法について |
| 第4回 | 1月 | 事例検討会 |
| 第5回 | 3月 | 認知症当事者の方との語らい |

各ブロックの活動内容

南大沢ブロック

取り組みから見えてきたこと

東南主マネ会の活動を通して 見えてきたこと

ご清聴ありがとうございました

東南主マネ会 一同

チームKOA 上半期活動報告

チームKOA の区域は旭町、子安、大横で、包括と11の居宅を入れて、主任ケアマネは全部で18名ほどになります。

エリア会議は、包括子安の下「ケアラズカフェわたぼうし」で、第2月曜日の基本的には2ヶ月に1度、12時10分～13時半に行っています。これまで4回行いましたが、毎回だいたい10名～15名ほどの参加です。

今年度、どういふことをやっていきたいと思いますか？ということも検討してきましたが、現時点では、各圏域で包括主導の事例検討会や地域ケア会議、学習会との兼ね合いを考えながら、エリア内で緩やかに情報共有しながら模索していきましょう、という共通認識です。



第1回目は4月16日でまず顔合わせ、第2回目は5月14日で年間計画作成、第3回目は7月9日で各圏域での情報共有を行いました。

昨日は第4回目を行い、大和田地区のコミュニティソーシャルワーカーの渡邊さんと生活支援コーディネーターの大和さんをお招きして、それぞれの役割や活動内容について、お話をお伺いしたところです。

今後については、包括合同の企画にチームKOAが協賛する形で、11月末にMSWをお招きして、地域のケアマネさんとの、ざっくばらんな懇談会の企画が現在進行中です。

今後も頻度としてはだいたい、2ヶ月に1度のペースで行って行こうと思っています。



チームKOAの特徴的なこととしては、毎回美味しいランチを頂きながら、和やかに話し合いをしていることです。

ランチは近隣の、障害者の方の作業所で作っている、ヘルシーで美味しいお弁当を届けて頂いています。

しかもリーズナブルで普通盛り490円、小盛450円です！

各圏域でもそれぞれ、事例検討や地域ケア会議、学習会などが行われている中、3圏域エリア会議としての役割はまだまだ模索中ですが、基本的には1時間半弱のランチミーティングを重ねながら、まずはエリア内の主任ケアマネ同士がお互いを知り合い、エリアならではの活動をしていければ、と考えています。

今度報告するときには、美味しいお弁当の写真を含め、皆さんにこんなことをやってます！という報告ができるようにします。ありがとうございましたm(__)m

